

コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

～ニッカウキスキー北海道工場～ 札幌軟石を多用した木骨石造

■見学者棟・事務所棟 木骨石造 建築年:昭和15年頃
※登録有形文化財指定



耐震補強
・木造軸組(筋交い)の負担を鉄骨補強フレームにて受け換え



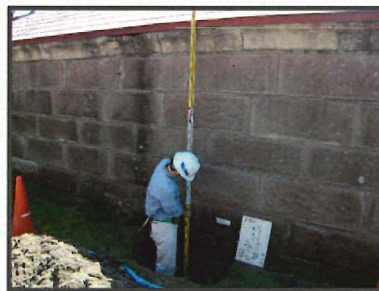
耐震補強
・炭素繊維シートによる軟石壁積みの崩落防止



■キルン塔 木骨石造 建築年:昭和15年頃
※登録有形文化財指定



図面復元調査
・各所寸法の現地実測調査
・現状での図面復元
・軟石の物性調査試験



耐震補強
・炭素繊維シートによる石造壁の崩落防補強
・鉄骨フレーム補強



■蒸留棟 鉄骨造 建築年:昭和15年頃
※登録有形文化財指定



■リタハウス(旧研究室) 木造 建築年:昭和15年頃
※登録有形文化財指定

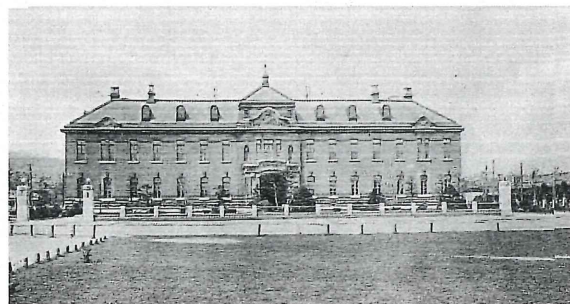


コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

～札幌市資料館～ 外壁に札幌軟石を用いた煉瓦造

■札幌市資料館(旧札幌控訴院) RC造+煉瓦造(外壁軟石積み) 建築年:大正15年
※登録有形文化財指定



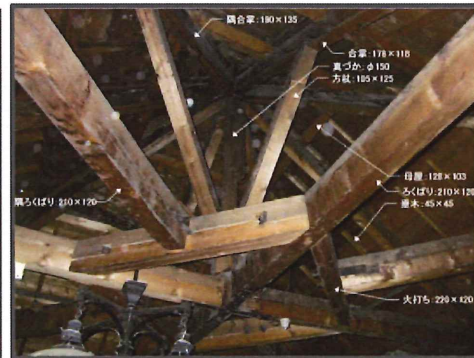
札幌控訴院時代



基礎掘削による出来型確認調査
基礎掘削による出来型確認調査



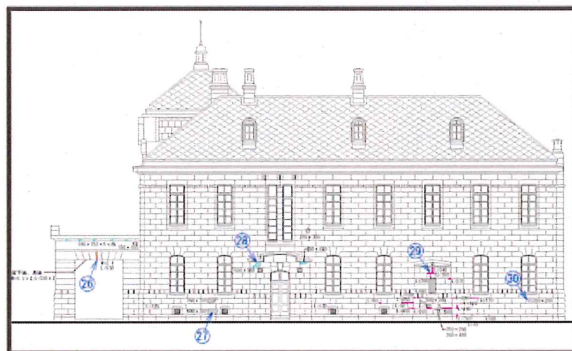
床下木軸組実測調査



天井裏架材実測調査



使用煉瓦材の物性調査
(目地モルタルせん断耐力)



外観劣化目視調査

様々な観点からの 現地調査

・現在の経年劣化進行状況を把握し、保有する耐震性能を評価するため、様々な観点に基づく現地調査の実施

コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

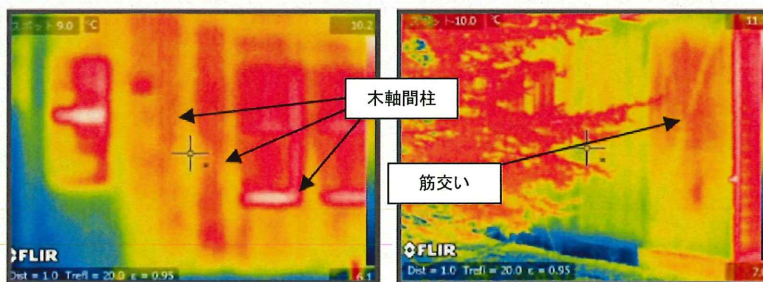
～木造の歴史的建造物～

■旧三菱鉱業セメント寮(札幌市) 木造 建築年:昭和12年頃



耐震補強に伴う現地図面復元調査

・文化的価値ある建築物であることを考慮し、可能な限り破壊調査を避けるため、赤外線による内部確認調査実施

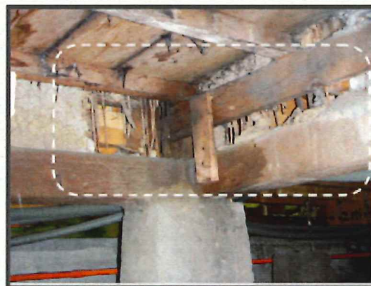


■旧永山武四郎邸(札幌市) 木造 建築年:明治10年頃
※北海道指定有形文化財指定



耐震補強に伴う現地調査

・床下などの軸組材と基礎東石の状況調査



耐震補強に伴う現地調査

・不同沈下進行の確認
・柱傾斜の確認



■橋本家(旧鯉御殿)(寿都町) 木造 建築年:明治30年代



■ニッカウキスキー北海道工場製品倉庫 木造 建築年:昭和15年頃



コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

～鉄筋コンクリート、鉄骨造の歴史的建造物～

■赤平炭坑立坑櫓棟(赤平市) 鉄骨造 建築年:昭和37年



現地劣化調査

- ・鉄骨部材の腐食確認
- ・その他要緊急性確認



現地劣化調査

- ・漏水対策のための屋上防水劣化状況調査



■赤平炭坑浴場棟(赤平市) 鉄筋コンクリート造 建築年:昭和37年



現地劣化調査

- ・コンクリート部材の劣化確認
- ・その他要緊急性の確認



現地劣化調査

- ・漏水対策のための屋上防水劣化状況調査



■王子製紙恵庭発電所(恵庭市) 鉄骨造 建築年:昭和3年



耐震補強

- ・鉄骨ブレース増設
- ・外部劣化補修



類似案件
尻別第二発電所



コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

～煉瓦造の歴史的建造物～

■滝の上発電所(夕張市) 煉瓦造 建築年:大正14年

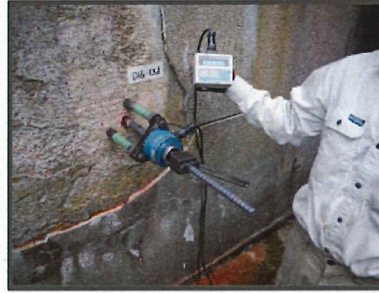


耐震補強に伴う現地調査

- ・あと施工アンカー引張り
- ・耐力確認試験

耐震補強設計・監理

- ・鉄骨水平構面増設
- ・壁内アラミドロッド挿入



■はこだて明治館(函館市) 煉瓦造 建築年:明治44年



経年劣化に伴う補強設計・工事

- ・アーチ部分を鉄骨部材にて支持、無収縮グラウト注入



■江別第二小学校(江別市) 煉瓦造 建築年:昭和25年



■江別第三小学校(江別市) 煉瓦造 建築年:昭和32年



・(一社)北海道建築技術協会による「煉瓦造建築物の耐震診断規準」に基づく、耐震診断

コンステックの歴史的建造物の施工例

歴史的建造物は設計基準が未整備の時代に建築されているため、耐震性が低く、劣化が進行しているものがほとんどです。コンステックHDではこれらの建造物の調査診断・補修補強工事を行っております。

～北海道以外の歴史的建造物事例～

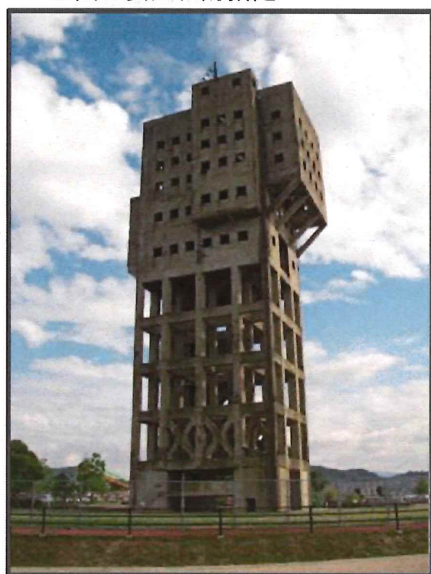
■シャトーカミヤ(茨城県牛久市) 煉瓦造 建築年:明治36年
※国指定重要文化財



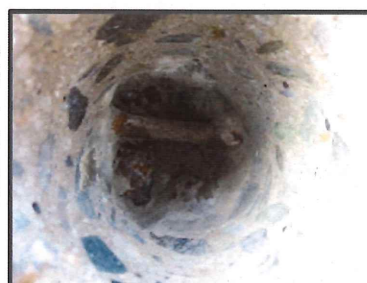
・目地へのアラミドロッド挿入による補強
(B-Star工法)



■旧志免鉱業所竪坑櫓(福岡県志免町) 鉄筋コンクリート造 建築年:昭和15年頃
※国重要文化財指定



小径コアによる
圧縮強度試験



目視による
鉄筋腐食調査



自然電位による
鉄筋腐食調査



ビデオスコープによる
中性化深さ調査

■旧羅典神学校及び旧長崎大司教館
(長崎県長崎市)
煉瓦造 建築年:明治6年
※指定国重要文化財



■旧下関英国領事館(山口県下関市)
煉瓦造 建築年:明治39年
・炭素繊維補強
※国指定重要文化財

